

太陽光発電システムを支える架台メーカー

TMM

ジャパン

The Mount Makers

高耐食メッキ鋼板を用いた 太陽光発電システム野立て架台

TMM 野立て架台（高耐食メッキ鋼板製）

特長	① 安心の強度設計
	② 設置／組み立て時の施工性配慮
	③ 10年保証
	④ 中国JISCO製SCS鋼板を採用
	⑤ 材料コストが安価でアルミ製に比べて、大幅にコストを削減できます。
	⑥ 高耐食で、加工性に優れ、長寿命、自己修復性を有します。
	⑦ メッキ層は亜鉛（Zn）、アルミニウム（Al）、マグネシウム（Mg）の高温凝固によって形成されています。
TMMの設計思想	① 設計基準 JIS C8955-2017 準拠
	② 顧客要望に個別対応設計
	③ 現場施工性／組立作業性を十分に考慮した設計

製造元	酒泉鋼鉄株式会社(JISCO)
商品名	JISCO®SCS
メッキ層組成	Zn-11% AL-3% Mg-0.2% 微量Si
微細構造	Zn、Al、Zn2Mg 高密度三元共晶構造
耐食性	亜鉛メッキの15倍以上 ガルタイトメッキ※の5~8倍 ※熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき 端面部耐食性に優れる (AL/Zn合金メッキ比較)

従来のアルミ製に比べ価格優位性の高い、信頼性にも優れた野立て架台です

太陽光発電システム用野立て架台 材質別一覧

主たる構造材料		評価（◎：優 ○：良 △：可 ▲：レアケース）								
材質	表面処理	仕様別				機能別				長期信頼性
		標準	積雪対応	多積雪	塩害仕様	コスト	耐食性	強度	外観	
スチール (鉄鋼)	熔融亜鉛メッキ（どぶづけ）	△	△	○	○	○	○	○	△	○
	直接塗装（スプレー等）	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	◎	○
	Zn/Al/Mgメッキ鋼板 (中国製高耐食メッキ鋼板)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
アルミニウム	アルマイト処理（陽極酸化処理）	○	○	△	△	△	○	▲	○	○

Zn/Al/Mgメッキ鋼板
(中国製高耐食メッキ鋼板)
優位性

アルミ製が一般的ですが、高耐食メッキ鋼板製の方が安価で強度もあり、高耐食制が高く、最も太陽光発電用架台に適した材料です。アルミより単重が重いですが、積雪・多積雪対応など、架台の強度がより問われるような場合、海岸線に近く、塩害対応が必要な場合など、アルミ製より優れた性能を発揮します。また、日本ではあまり考慮されませんが、RoHS、ELBなどの環境規制を重視する場合は、高耐食メッキ鋼板製が優れています。今後、日本でも環境への影響を配慮した部材が望まれるようになった場合、更に高耐食メッキ鋼板の優位性が高まるでしょう。



高耐食メッキ鋼板について

特色

高い耐食性、長期信頼性を有した材料です
 熔融亜鉛メッキ（どぶメッキ）鋼板に比べ、15倍以上の耐食性を有します
 切断加工断面において、メッキ層の浸透／浸食で高耐食性を維持します。
 メッキ層が固くプレス加工性が高く、太陽電池架台材料として適しています。

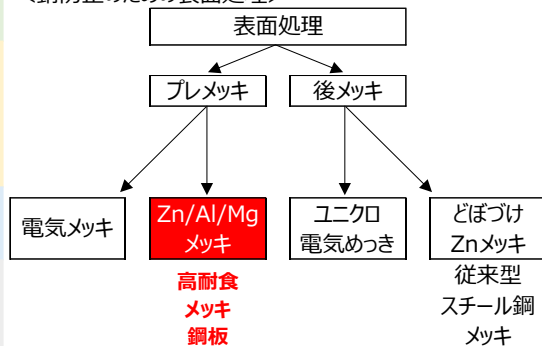
メッキ

メッキ層の形成（鋼板/鋼材表面処理）はプレメッキ方式
 メッキの目的は防さびの為。

組成

どぶメッキ鋼材は、後メッキ方式でその組成はZn（亜鉛）が主になります。
 高耐食メッキ鋼板は、Zn（亜鉛）AL（アルミニウム）Mg（マグネシウム）から成りメッキ層を表面に形成しています。

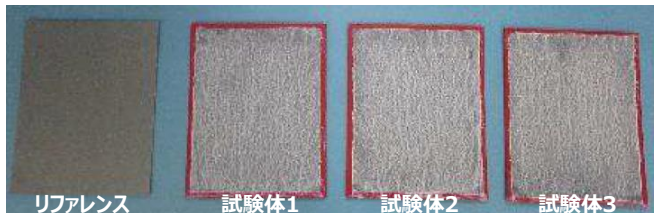
<錆防止のための表面処理>



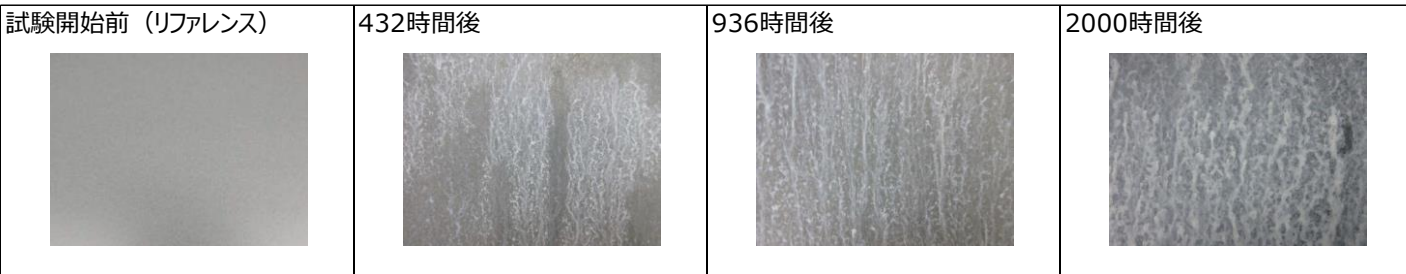
高耐食メッキ鋼板の絵引水噴霧試験結果（外観写真）

試験条件	JIS Z 2371:2015
塩水濃度	50±5 g/l NaCl
周辺環境温度	35±2 °C
塩水噴霧量	1.5±0.5 ml/80cm ² ・h
PH調整	25±2°C : 6.5~7.2
暴露時間	2000時間

2000時間 噴霧後の試験体写真

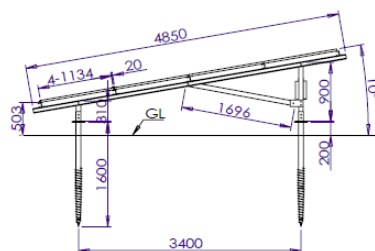
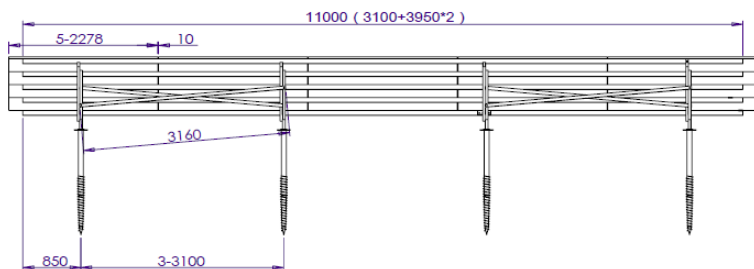


中央部拡大写真



野立て標準架台：高耐食メッキ鋼板製架台 概要図

(2,286×1,134サイズモジュール 横置き4段5列 20モジュール 550W~590W 11.0kW~11.8kW)



製品やお取引に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください。

株式会社TMMジャパン

住所：〒162-0042 東京都新宿区早稲田町85番地 近藤ビル5F
 TEL：03-5291-6886 (9:00~18:00 ※土日祝日、年末年始を除く)
 URL：www.themountmakers.jp
 お問い合わせメールアドレス：jpinfo@themountmakers.com

